

様式第1号(第5条関係)

準要保護児童生徒就学援助費申請書(R3年度)(野尻小学校)
R3. 4. 1現在でご記入ください。

住 所				地区名()	連 絡 先	Tel —	
学年・氏名		年 組 氏名()			生 年 月 日	年 月 日生	
世帯 の 状 況		氏 名	続柄	生年月日	年齢	勤務先(常勤・臨時・パート)・学校名(学年)	
	1		保護者	年 月 日			
	2			年 月 日			
	3			年 月 日			
	4			年 月 日			
	5			年 月 日			
	6			年 月 日			
参 考	住 宅 の 形 態		1 自宅 年 新築(購入) 2 借家(アパート) (家賃 円) 3 その他 ()				
	援助の必要な理由(具体的に)						


《記入上の注意》

- (1) 太枠の部分のみに、黒ボールペンで、児童生徒1人につき、この用紙1部に記入してください。
- (2) 就学援助費の支給を受けるために必要な調査ですから、正確にありのままに記入してください。
- (3) 住所は、郵便物が届くように番地・号館・号室まで正しく記入してください。
- (4) 次年度の申請の場合は新学年のみを、現年度の申請の場合は現学年・組を記入してください。
- (5) 世帯状況欄は、現在生計を共にしている人(当該児童生徒以外)全員を記入してください。
- (6) この申請書以外に次の書類を添付して提出してください。
 - ① 生計を共にする人の前年の収入を証明するもの(収入額の記載された所得証明書又は源泉徴収票の写し等)
※次年度の申請の場合、前年の所得証明書が取得できませんので、その場合は源泉徴収票か給与明細書等の写し等をご準備ください。
 - ② 生活保護法に基づく保護の停止又は廃止の措置を受けたことを証明するもの(前年度又は当該年度に措置を受けた方のみ)
 - ③ 前年度又は当該年度に、個人事業税の減免、市町村民税の非課税、市町村民税の減免、固定資産税の減免、国民年金の保険料の減免、国民健康保険税の減免のいずれかを受けたことを証明するもの(該当する方のみ)
 - ④ 貸家、アパートの家賃の月額が記載されている契約書の写し(居住者のみ)

小林市教育委員会 様

上記のとおり、準要保護児童生徒就学援助費について申請いたします。

また、必要があれば民生委員に私及び同居者の情報を提供し、調査を実施されることに同意すると共に、収入及び資産関係を調査されることに同意いたします。

年 月 日 申請(保護)者 

(表)

<p>《校長所見欄》</p> <p>ア 保護者が廃業若しくは失業等により生活に困窮している者又は職業が不安定で、預貯金等の活用をしても、なお生活が苦しい者と認められる。</p> <p>イ 学級費、PTA会費等の学校納付金の減免が行われている。</p> <p>ウ 保護者の生活状態が極めて悪い場合、学校納付金の納付状態が悪く、被服及び学用品等に不自由している。</p> <p>エ 経済的理由による欠席日数が多い。</p> <p>オ 保護者が、死亡又は病気療養中である。</p> <p>カ 援助の必要はないと思われる。</p> <p style="text-align: right;">令和 3 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">小林市立野尻小学校</p> <p style="text-align: right;">校長 印</p>	
<p>《教育委員会記入欄》</p> <p>1 第3条第1号又は第2号に該当するか否か (第3条第1号・第3条第2号・非該当)</p> <p>2 校長・民生委員・主任児童委員との協議の要否 (要 ・ 否)</p>	
<p>《民生委員所見欄》※該当する項目に○をつけてください。</p> <p>1 上記校長所見のとおりと認め、援助の必要があると思われる。</p> <p>2 上記校長所見のとおりではあるが、援助の必要はないと思われる。</p> <p>3 上記校長所見のとおりではない。</p> <p>(特記事項)</p>	
<p style="text-align: right;">民生委員氏名 印</p>	
<p>《主任児童委員所見欄》※該当する項目に○をつけてください。</p> <p>1 上記校長所見のとおりと認め、援助の必要があると思われる。</p> <p>2 上記校長所見のとおりではあるが、援助の必要はないと思われる。</p> <p>3 上記校長所見のとおりではない。</p> <p>(特記事項)</p>	
<p style="text-align: right;">主任児童委員氏名 印</p>	
<p>《教育委員会記入欄》</p> <p>民生委員及び主任児童委員並びに校長との協議を受けて、第3条第3号及び第4号に該当するか否か (該当・非該当)</p>	